まちのわだい

身近なわだい、お寄せください。
まちづくり課 商工観光係
☎29-5640

新庄・最上ジモト大学 街並み歩きで金山の歴史を学ぶ

7月25日、金山町街なか交流施設（マルコの蔵）を会場に「新庄・最上ジモト大学」が開催されました。この「ジモト大学」は、地域の大人と高校生が、地域のことを本気で語り、学び、交流する場として、学校だけでは学べない「ヒト・モノ・コト」を体験できるよう、地域が一丸となってプログラムを提供しているものです。

かねやまプログラムには新庄東高校の１年生10名が参加。金山の景観づくりを学ぶことを契機に、それぞれの自治体の町づくりに歴史やこだわりがあることに気づいてもらいたいというねらいです。参加者はマルコの蔵での座学を経て、イザベラ・バードが、およそ150年前に金山を訪れた往時の面影を残す街並みを散策。その後の振り返りで「うちの町といえばこれ！」といった話題を全員が誇らしげに話してくれました。「自分の地元を考えるきっかけになった」といった声が寄せられるなど、それぞれがジモトに思いを馳せるひと時となりました。



金山町福寿会を開催 これからも元気で長生きしてください

9月13日、町中央公民館で多年にわたり社会に尽くされたご長寿の皆さんを敬愛し令和８年度福寿会を開催しました。喜寿・米寿の方々を対象に「賀詞等贈呈式」を実施。そのほか、結婚50年の金婚を迎えられたご夫婦に対して町から賀詞、山形新聞社からレリーフが贈呈されました。町の70歳以上の方は、男性646人、女性811人で 合計1,457人（令和８年９月１日時点）。その中で今年度、喜寿を迎えられた方は86人、米寿が43人でした。







令和８年度　金山町長寿番付

氏　名	地区	年齢
五十嵐　スチエ	荒屋	104
伊藤　チヨノ	朴山	102
高橋　ヒデヨ	羽場	100
沼澤　ワカコ	片貝	99
柴田　昭子	稲沢	99
佐藤　幸次郎	羽場	99
藤山　喜光	稲沢	99
柿崎　孝子	下中田	98
大場　良子	荒屋	98
小野　キミ子	羽場	98

令和８年度　金山町長寿番付

氏　名	地区	年齢
星川　チヤウ	荒屋	98
菅原　リヨ子	荒屋	97
小野　行雄	山崎	97
伊藤　トシ子	山崎	97

※敬称略
※生年月日順
※令和８年９月15日現在の年齢
※令和９年３月31日までに年齢が98歳となる方を掲載

童（わらべ）スポーツクラブは80㎞を完走 チャリティー駅伝で募金を届ける

8月30日、町中央公民館をスタートし、ゴールの上山市リナワールドを目指して童スポーツクラブによるチャリティー駅伝が開催されました。参加した小中高生33名が指導スタッフのサポートや保護者の声援を受けながら約80㎞の道のりを走りきり、クラブ員や保護者から寄せられた8,473円を募金しました。この活動は、童スポーツクラブ20周年記念事業として平成21年に始まり、今年で17年目の開催となりました。









RUN伴（ランとも）山形県2026 plus（プラス） 金山＆金山町ウォーキングイベント

9月12日、町中央公民館を発着点に、「RUN伴山形県2026 plus 金山＆金山町ウォーキングイベント」が開催され、町内外から120名が参加しました。健康増進と認知症の理解を深めることを目的に実施されたこのイベントは、株式会社メーカーの協力のもと、健康維持のための歩数目標達成を目指す「かねやまステップジャンボ事業」の一環としても開催され、参加者は秋晴れのもとコースを歩き、爽やかな汗を流しました。

沿道や参加者同士で温かい声援が交わされ、地域の一体感が生まれたほか、ゴールゲートを通過した方々からは笑顔が見られました。ゴール後には「eスポーツ体験会」や「ステップジャンボ抽選会」が催され、参加者からは「参加してよかった」「楽しかった」などの声が寄せられました。











Machi no Wadai

未来を担う子どもたちへ
平成12年度同期会が町へ寄付

9月14日、平成12年度金山中学校卒業生同期会の皆さんから、町へ10万円の寄付をいただきました。同期会を代表して三浦祐真さん（七日町）、早坂和弥さん（七日町）が来庁し、佐藤英司町長に寄付金を手渡しました。「私たちが育った金山町の子どもたちの未来のために役立てていただきたい」との思いを受け、寄付金は子どもたちの教育・文化活動に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



▲左から早坂さん、三浦さん、佐藤町長

安全な自然体験を目指して
遊学の森に野生動物撃退装置を設置

8月25日、遊学の森どんぐり広場で野生動物撃退装置の実証設置が行われました。燃料電池活用型の同装置が設置されるのは日本初となり、遊学の森の三上重幸館長は、「近年深刻化するクマやイノシシなどの出没から体験者の安全を確保し、地域の安全や農業被害防止に繋げることを期待している。装置は約３ヶ月間実証設置されます」と想いを語りました。



▲光や音を出して鳥獣を撃退する野生動物撃退装置

ローラースキー尾花沢大会
金山勢がフリー競技で躍進

8月16日、尾花沢市花笠高原で第35回ローラースキー尾花沢大会が開催されました。当町からは17名の選手が出場し、金山中学校３年、神沼希歩さん（七日町）が中学女子３kmフリー競技で優勝。新庄神室産業高校金山校３年、金丸拓寛さん（七日町）が高校男子4.5kmフリー競技で優勝。日本体育大学１年、柿崎仁さん（七日町出身）が成人男子4.5kmフリー競技で優勝しました。神沼さんは「練習の成果が出せて嬉しい。冬に向けて頑張りたい」と想いを語りました。



▲神沼希歩さん（中央）

地域の快適な環境づくりに貢献
シルバー人材センター金山地区班が草刈り

8月５日、中央公園でシルバー人材センター金山地区班の皆さんによる草刈りボランティアが実施され、参加した会員13名は手際よく伸びた草を綺麗に刈り揃えました。同地区班長の伊藤重好さん（山崎）は「安全で喜ばれる仕事をモットーに励んでいます。今年も地域貢献として草刈りをさせていただいた。今後も活動を継続していきたいです」と想いを語りました。地域の皆さんが安全で快適に憩える美しい環境づくりに心より感謝します。



▲早朝から草刈りを行う金山地区班の皆さん

有屋３地区の伝統を受け継ぐ
めぐり地蔵堂落慶法要

9月23日、彼岸の中日に、下向地区（地境）でめぐり地蔵堂の落慶法要が開催され、柳原、入有屋、下向地区の住民55名が参加しました。当日は念仏講が行われ、めぐり地蔵様が新しい地蔵堂に無事安置され、地域の伝統を受け継ぐ節目のひと時となりました。めぐり地蔵様実行委員会の矢口卯之助会長（下向）は「住民の皆さんのご理解とご支援のもと、地蔵堂を建設させていただきました。皆さんへ感謝の念でいっぱいです」と想いを語りました。



▲新たに建築されためぐり地蔵堂

東京五輪の選手村を支えた金山杉
ベンチとなって町内の公共施設へ

9月１日、役場前やマルコの蔵、町中央公民館、グリーンバレー神室などの町内各施設で、やまがた緑環境税を活用して作成したベンチが設置されました。このベンチは2020年東京五輪の選手村で使用され、その後町へ帰ってきた金山杉を再利用したものです。世界的なスポーツの祭典を支えた町の貴重な木が、今後は身近な町民の皆様の温かな憩いの場として新しく生まれ変わりました。



▲マルコの蔵の前に設置されたベンチ

読書の楽しさを届けたい
二十歳の節目に子どもたちへ絵本等を寄贈

8月20日、二十歳を迎えた小沼我央さん、佐藤新星さんが、二十歳を祝う会実行委員会を代表し、認定こども園めごたまに記念品を贈呈しました。今回の寄贈は二十歳を迎えられた皆さんの「自分たちが生まれ育った町の子どもたちに、読書の楽しさを届けたい」という温かい思いから実現しました。一人でじっくり読める絵本に加え、みんなで楽しめる紙芝居も合わせて計10冊が贈られました。



▲園児たちと記念撮影をする小沼さん（左）、佐藤さん（右）

全国ローラースキー大会で優勝
金丸拓寛さん堂々の日本一

8月10日から11日に秋田県鹿角市の花輪スキー場ローラースキーコースで第37回全国ローラースキー選手権大会が開催されました。当町からは９名の選手が出場し、新庄神室産業高等学校金山校３年、金丸拓寛さん（七日町）が高校男子10kmフリー競技で優勝しました。金丸さんは「日々の練習の成果を発揮することができました。シーズンに向けて頑張ります。」と想いを語りました。



▲金丸拓寛さん（中央）